

人気名匠鑑

(15)

宇都宮 平田旭峰師

昭和初期から戦乱後の民心安定期の三十年前後までにかけて、東京の筑紫界に名人として謳われたのが平田旭峰師であらう。勿論他にも大家と称された数人の男女名手は居られたが名人の敬称はなかつた。この平田師の名人芸を其の儘に受け継いでいる巧者が平田旭峰師で、現在は宇都宮市に住居され、戦前までは東京深川に住居された。旭峰門下の優等生として人望厚く、明朗な社交家で信頼されていた。代表的巧者。

東京 八束一峰師

東京の薩摩琵琶愛好家の唯一の集団である正絃会の会員で、良く人々のお世話をなさる親切家である。元三越百貨店に勤務された模範社員と聞くと、言葉も丁寧で周到な親切ぶりに感銘させられる。正絃会入会前は錦心流の愛好家であったと記憶するが、現在は正絃会の中堅手で流し芸風の味がフアンを悦ばせ人々を呼ぶ。物に対する研究心が強く、史実から技術、製品に至る諸物件で、人々心風風の観察にも一見識あると見受けられる。

非売品

編集発行者 鈴木普士

東京都練馬区豊玉北五ノ一 電話(九九一)〇三六三番

友の芸

横須賀 齋藤妹水師

大正から昭和十二、三年までの琵琶全盛の流行期の湘南地区では、日本海軍の第一鎮守府兵団が横須賀に在りて海軍将兵に愛用者が多く教授所は繁昌した。現在湘南新界女流の大家で実力者である齋藤妹水女史は、美声の花形と謳われその名前は関東だけでなく京阪地区にまで轟き、先年京都で歓迎され好評を博したの証左で、明るい人情味豊かな親切な社交ぶりが人々を魅了している。

横須賀 齋藤旭邑師

朝鮮の表玄関口の釜山にて大きな海運業を営まれた社長夫人の齋藤旭邑女史は、その華やかな時代には筑紫琵琶の名花と謳われて全国大会の人氣を呼んだものだ。時勢の移り変わりで人の運命も左右されるが、女性には稀な幅広い流し声調と巧節は百練の牙で重量感充分。錦心流びいきの多い湘南地では筑紫琵琶の妙味を何処まで鑑賞して頂けるかは問題である。齋藤女史は老えたりと誰も氣丈で明るく、流石に有福な家庭婦人の心境を忘れぬ大胆が見える。

福岡 青山旭子師

當代筑紫琵琶屈指の藝家で名人と定評高い福岡市博多の女傑である。嶺南の秘蔵門人青山旭子さんは、幼少の頃より嶺南に就て修業され、天才と呼ばれる美声の持主で器用人、先年懇師と共に渡米して各地で演奏し人氣を受けた体験

東京 菊地甘水師

ある若い花形で、最近では東京の鶴田錦史名人の指導を受けて音律と撥使いの秘法を研修され、未来の名人を目指すと流石だ。

晴風会秋季演奏会

東京琵琶の芸家浅野晴風師の晴風会の演奏会は、十一月二十日正午より中野北部公会堂にて催され、浅野会長、望月暉江、中村晴声、山崎典水、緒方晴舟、杉山雅俊、岩崎竜風、山下晴橋、本橋錦風諸名手以下会員十名が出演して演奏が展開され、望月、中村の両者は吟の牙を示し何れも聴衆を魅了させた。

浜松、鶴絃会大会

静岡県浜松市の薩摩琵琶の名手小野鶴彦師の鶴絃会では、十一月十三日正午より山文旅館にて薩摩琵琶演奏会を催し、小野会主と会員十余名、浜松同好十数名に來賓に鶴彦流家元山本鶴声師を始め岡尾鶴城、京都の平井春嶺、名古屋の櫻谷岳陽の諸名手が参加されての演奏で賑った。

三鷹市民文化祭

東京都三鷹市芸術文化協会主催の市民文化祭は、市教育委員会の後援で十一月三日公会堂にて詩吟、剣詩舞、邦楽の合同大会を開き、邦楽琵琶の出演は本橋錦風、加藤錦陽の両人で好評を受けられた。最も加藤氏は市の芸術文化協会の会長である。

三鷹市民文化祭 三田村琵琶製作

東京都渋谷区神山町八番地三三 NHK放送センター1西口前 電話渋谷六八二二番

三田村楽器店

電話渋谷六八二二番

最古の傳統と最高の技術 専門製作 薩摩琵琶 附属品一式

創業明治十一年 石田琵琶店

東京都港区虎ノ門三ノ一(地下鉄虎ノ門バス明船町下車) 電話〇三〇六六五四八番

調製 愛吟集 各定価1,000円 送料200円

精密部品加工業(腕時計部品) 事務機

ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売

平井精密工業 有限会社

本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429(22)3175
工場 所沢市荒幡218 電話 0429(22)3660

社長 平井円吉(洲誠)

染料・染色助剤・化学工業薬品 合成接着剤・界面活性剤・製造卸商

登録商標 株式会社 戸谷染料商店

社長 戸谷曙水

本社 東京都台東区下谷2丁目8の9 電話(873)3111,3112,3113,3114,3115
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地 電話草加0489 ②4955番

昭和五十三年一月一日発行



琵琶特集 一月号

年頭の辞

琵琶芸能の守護神弁財天の年と申された丁巳の年も終り、故に昭和五十三戊午の新年を迎え、謹んで天地の神仏を遥拝して国家の繁栄と平和を祈念し、各位の健康多幸を念願し、心を込めて新年の慶詞と感謝を捧げる次第である。昨年己巳年で俗に異変の多い年と伝えられて来たが、琵琶界でも巨匠や名手の他界があり悲情の年であった。今年午年で、午は馬に通じ陽気な動物である。人に愛され馴れ易く使用される。故に華々しい競馬とか、運搬耕作に使役される重宝とされ、後に馬頭観音に祀られる。

芸能家は常に人氣の厚薄を気にされる。特に舞台上立つ人々は入場人数が一層気に懸かるものである。この点競馬の名馬に相似るので、幾千万の観衆を集める心理作用である。故に芸能家は日常の言行と礼節に深く留意が肝要で、本分の芸術研鑽と共に道義責任を重んじ、軽率行動を慎むことの心がけが大切である。

芸能家の真摯勝負は公演の舞台上であるが、人氣は生命線と興行価値を左右するので影響が大きい。人氣獲得は日頃の徳行積善より生れる。心して美名を輝かす様切望す。

会長就任初新年の

紳士 齋藤旭章師

日本旭会の親柱

現代の我國で最も大切な教育は徳育問題で、伝統精神の人倫五常の礼節信義愛の堅守である。特に青少年の悪化防止と社会浄化の見地より急務とされている。琵琶道の精神は正にこの人道五常道の普及が主眼である。琵琶界随一の大家である筑紫琵琶日本旭会は、六十余年の歴史を有し、全国大会開催が四十七回に及び華々しい業績を擧げている。



(齋藤旭章師)

現会長齋藤旭章師は、多年宗家の補佐役主事として三世橋旭翁先生を扶けて古典音楽に新風を吹き込ませ、舞踊や琴、三味線、尺八を挿入し、大衆趣味の音楽として時代順応を築いて成功させた賢者である。昨春現職に推挙された重厚の紳士で、信望厚い斯道の大家。元旦が誕生日の七十八歳。

壽齡九十二翁

池上先生御健在

東京琵琶界の恩人

帝大卒の名医で池上病院長で高名であった東京板橋の紳士池上作三翁は、琵琶樂の愛好家で多くの



(池上作三翁)

歌詞も作詞発表されて流派の別なく弾奏者を支援され、斯道の興隆に絶えず力強く激励されて東京琵琶界の恩人と敬称され尊敬された。先生は元総理大臣の岸信介、佐藤作四郎の叔父で今年九十二歳の高齡を算するが、御健在は誠に目出度く、百歳までの御長壽を祈り上げます。

正月元日生れの

作家 曾我龍城師

古都鎌倉の閑居にて琵琶作家として百余題を作詩し、各派の多くの弾奏者より敬愛されている曾我龍城師は、八十歳に近い老齡ながら健康そのもので一家安泰の新春を迎えた。

毅然たる古武士風の性格と、厳正の志操は人情の機微を悉知し、社会状況を通観し、常に清廉高潔を以て社交する氣骨家で信望厚い。正月元旦に生誕の義侠人である。

新年

〒136 東京都江東区亀戸三ノ九ノ一九 電話〇三〇〇二五三番

鶴田錦史

日米加吟詠連盟
日本国風流詩吟

宗家 雨宮国風

〒232 横浜市中区弥生町三ノ三〇 電話〇四五〇三三三・三三九番

〒112 東京都文京区千石二丁目三ノ一三 電話〇三〇〇七三二番

笹川鎮江

新年 謹賀

筑前琵琶

柴田旭堂

宝塚歌劇

上原まり

〒651 神戸市灘区上筒井通五ノ四ノ二
電話〇六(21)一一六一番

梶本旭風

〒537 大阪市東成区神路町三丁目八ノ六
電話〇六 二二九一四番
6729001 二七七七八番

高千穂旭楓

〒544 大阪生野区小路二ノ二六ノ二五
電話〇六 〇三二五番

松岡旭岡

伊藤旭暢

520 大津市逢坂一丁目十二ノ三十一
電話〇七(24)九三二八番

筑前琵琶 宗家

橋 旭翁

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話〇三 〇一三八七番

筑前琵琶日本旭会

会長 齋藤 旭章

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話〇三 〇三三八二六番

筑前琵琶 横浜旭会

板倉旭富

〒231 横浜市中区本牧大里町一一四
電話〇五(62)〇四七二番

戸谷曙水

〒110 東京都台東区下谷二丁目八ノ九
電話 〇三 一一一〇五番

横須賀琵琶連盟

会長 山田幻水

〒237 横須賀市船越町一ノ五〇
電話〇四六(61)三六七六番

錦心流琵琶

勝水 阿部久子

山田勝敏
長谷川勝修
外門下生一同

〒454 名古屋市中川区中島新町五ノ四〇
電話〇五(33)〇二八四番

大和流琵琶吟宗家

山崎光掾

筑前琵琶橋会宗範

山崎旭萃

〒569 大阪府高槻市津之江町三ノ三
電話〇七(71)六五八〇番

錦心流琵琶三浦蓮水後援会

会長 加藤弥三三

事務所 西宮市松原町九ノ八
電話 西宮(26)三二二番

蓮水会 三浦蓮水

〒662 西宮市羽衣町七ノ三四
電話〇六(33)五八八七番
会 員 一 同

筑前琵琶

山崎旭萃会

東京本部

〒166 東京都新宿区西大久保一ノ二六
電話〇三 〇九九二一五番
(佐藤旭天紅方)

筑前琵琶

東京橘会

事務局 166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話〇三(315)六二二二番
(山元方)

筑前琵琶橋会師範

夏秋旭芳

詩吟詠錦城流師範

夏秋錦穂

〒857 佐世保市谷郷町四ノ一
電話〇九(23)一一三四番

新年 謹賀

筑前琵琶橋会

大坪旭邦

ロスマンゼルス
電話〇六(4)四六四五番

池上作三

〒173 東京都板橋区板橋町一ノ二ノ四
電話〇三 〇八一〇〇番

空城流詩吟会館

村上空城

〒010 秋田市金照寺山公園七ツ森
電話〇六(32)九〇番・七七番

筑前琵琶

日本橘会

家元 橋 旭宗

事務局 事務所 152 東京都目黒区目黒一ノ三ノ三
電話 〇三 〇三三〇三番
〒444 阿部市 福寿町七七番
電話 〇五(21)四四五七番

薩摩琵琶
尺八本曲道場
鶴声流吟詠
去来軒
山本鶴声
〒420 静岡市古庄四六〇ノ二〇
電話(三三)五〇五〇番

琵琶芸術同好会
四絃富士会
錦心流琵琶秋声派
前田秋聲
中部本部 453 名古屋市中村区荒輪井町二ノ一八
〒電話(五三)三八八二番
東京本部 141 東京都品川区西五反田四ノ八ノ三
〒電話(三三)八三三二番

吟詠菊水流宗家
菅根悠光
吟舞菊水流宗家
永田咏滉
〒125 東京都葛飾区青戸六ノ三七ノ二
電話(三三)三〇七五番

全国朗吟文化協会関東副部長
テイチクレコト下専属
群馬琵琶連盟会長
日本錦古流詩吟総本部会長
宗家 針谷錦古
〒370 高崎市岩鼻町局前二四七
電話(三三)二〇〇六番

錦心流琵琶輝派
輝水会本部
会主 輝 錦 凌
外会員 一同
〒113 東京都文京区本郷五丁目二ノ三
電話(三三)七六七四番

琵琶迎春七十年
鑽研未路遠延延
伊集院牙城
(研究室・鎌倉市・群馬県邑楽町)

日本琵琶楽協会
副会長 吉川 英史
副会長 金田 一 靖彦
副会長 辻 卷 旭 剛
理事長 藤 卷 旭 剛
〒105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
電話(三三)三七八九、九三八九番

薩摩正絃会
会長 西郷吉之助
副会長 樺山資清
事務所 105 東京都港区西新橋一丁目十一ノ七
電話(三三)三七八九、九三八九番

錦心流琵琶
脩水会会長
石田脩水
〒257 神奈川県秦野市寿町六ノ二七
電話(三三)八二一三番

高松宮妃名譽総裁をお迎えし
第十回 全国吟剣詩舞道大会挙行
厳粛な式典で参加二万人の盛儀



(笹川良一先生)

財団法人日本吟剣詩舞振興会は創立十周年を迎え、去る十月一日に三田の笹川記念会館にて高松宮妃名譽総裁をお迎えし、外国大使数名も臨場され、会員数百名出席して盛大な十周年記念祝賀の盛典を笹川会長により挙行されたが十一月六日午前八時より九段坂上の日本武道館に於て開催された第十回全国吟剣詩舞道大会は、創立

以来の行事として毎年一回高松宮妃研究基金奉養として主催される例で、この大会には名譽総裁を始め関係名士の来賓も多く実に厳粛な盛典で、この会朝から吟詠団六十人を一組として合吟コンクールが百二十余団も続き、そのあと全国のコンクールで入賞三位までの少年と青年各吟詠が行われた、名譽総裁宮妃が笹川会長のご先導で御臨席遊ばされ、国旗掲揚、国歌合唱、笹川会長の御挨拶、来賓の祝辞、高松宮妃の御言葉があり、コンクール優勝者と三位までの入賞者表彰式が行われ、妃陛下下

世界楽界の巨星で現代琵琶の名人鶴田錦史師の一門鶴翔会は、久し振りで陽春四月に国立劇場に於て演奏会を催すことが決った。同会員は芸豪揃いとて待望されよ



(鶴田錦史師)

宮崎直二
〒154 東京都世田谷区太子堂一ノ三ノ八
電話(三三)六五七八番

琵琶洲楓会本部
事務所 〒150 東京都渋谷区渋谷一ノ六ノ四
電話(三三)〇〇七〇番

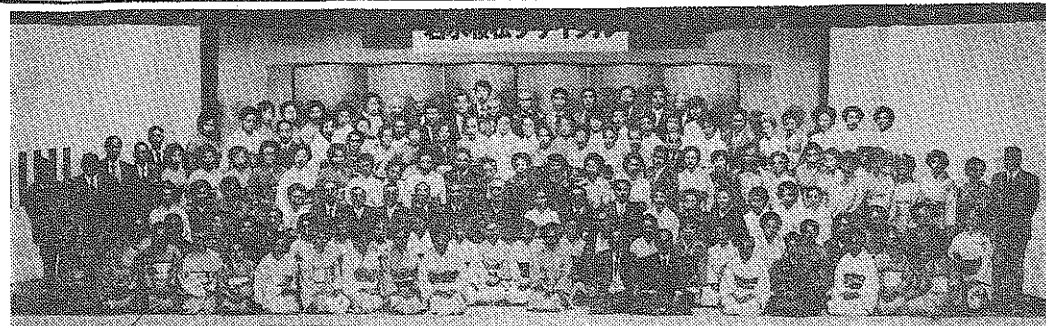
会長	大館 美江子
理事長	桑名 洲 聖
副理事長	荒川 洲 帆
常任理事	前田 洲 月
同	平井 洲 誠
同	松崎 洲 陵
同	稲垣 洲 玲
同	山田 洲 鳳
同	彼ノ矢 洲 友

筑前 旭鴻会本部
会長 藤巻 旭鴻
〒171 東京都豊島区高松三ノ一二
電話(三三)三六四五番

藤巻 旭星	石田 旭冷
藤巻 旭陽	古川 旭神
藤巻 旭彰	古川 旭神
藤巻 旭祐	清田 旭丈
藤巻 真一	桑田 旭容
藤巻 典子	柴田 旭枝
藤巻 加奈子	井上 旭照
藤巻 旭薫	大西 旭好
南崎 旭映	半田 旭蘭
黒田 旭史	野口 旭遊
林田 旭章	吉見 旭子
内田 旭苑	横山 又工
早山 旭苑	青木 富子

藤巻旭鴻後援会
会長 青柳 重道
173 東京都板橋区大山西町二四ノ一
電話(三三)六二五四番

若水桜水リサイタル



脩水会結成披露
石田脩水師

一月十八日正午
新宿安田ホール
美声と調節の妙で気品高い芸風と称えられ、エンケールでも優勝された現代錦心流の大家石田脩水師は、この度有志の勧めにより脩水会を結成し、会長に推され、脩水に長谷川錦舟、顧問に松田静水前田洲月、神戸静鳳、相談役に落合信一の各氏が就任された。その



(石田脩水師)

披露を兼ねた第一回琵琶演奏会を新春早々の一月十八日正午より新宿安田ホールの安田生命ホールに於て挙行される。
出演者は松田静水元老を筆頭に前田洲月、若水桜水、藤巻旭、友吉鶴心の四大名匠、押川旭葉、長谷川錦舟、水藤五郎、神戸静鳳と定評ある精鋭組の真技名手花形更に各流の中堅から数名が参加し陣容で、新春を飾る大競演が好開きもので人気を呼ぶであろう。出演番組と楽曲は次の通り。
詩吟 杉本光江 同 楠まさ子
▲重衡 吟野野窪脩城 絃神戸
本能寺 金尾洲丈 ▲旅順の乃木將軍 内田旭章 ▲鉢の木 石田脩水 ▲小栗栖 神戸静鳳 ▲井伊大老

中村洲心 ▲茨木 長谷川錦舟 ▲横笛 ▲山田洲鳳 ▲詩吟 浜松中村晴声 ▲伊達政宗 水藤五郎 ▲川中島 押川旭葉 ▲あいさつ 相談役落合信一 ▲勸進帳(掛合) 弁慶長谷川 富樫石田 絃前田洲月 ▲八甲田山 友吉鶴心 ▲羅生門 藤巻旭 ▲新撰組 若水桜水 ▲白虎隊 前田洲月 ▲舟弁慶 松田静水
脩水会は毎年三回宛の演奏会を開いて斯道の発展に尽す。

琵琶楽協会主催
新春恒例の各派
名流琵琶演奏会

一月二十八日正午開演
銀座ガスホール

日本琵琶楽協会主催の新年弾初恒例の各派名流琵琶演奏大会は一月二十八日正午より東京銀座のガスホールに於て開催される。出演者は一流大家から新鋭の花形揃いで、筑前派八名、薩摩派六名、錦心流派六名、錦派二名都派二名の計二十四人で、初顔に三栖旭録さん、石田脩水師が近年に珍らしい出場である。恒例ながら女流組の木原、若宮、中村、広瀬、原島、都、仲川三穂、前田、清川、藤波、押川の各名花の競演が興味を呼び、男子組では友吉、鈴木、須田、石田、杉山、遠東等定評ある大家連が如何に真価を發揮してファンを感動さすかに期待されるであろう。円熟組の八東、大塚両者の激しい芸風がどう愛好者の胸を打つかも興味が多い。出演順と曲の番組次の通り。



(永田詠泥師)

新年初吟舞大会
葛飾公会堂で

一月二十二日正午

名古屋、阿部勝水師
新年初吟舞修会
名古屋琵琶界の名花で錦心派の人氣王と定評される阿部勝水師の援から賞讃され人氣王と輝いてゐる。師が毎年新春に催す初吟舞会は、本年も一月二十二日正午より葛飾区公会堂に於て開き、日常支援下さる後援有志へ御礼のご挨拶を兼ねて全会員の奉仕芸技の鑑賞を心ゆくまで楽しんで頂きたく、会員の昇格免許状授与も行う由、典雅優美仕舞の鑑賞を喜びの新春の一日は期待され人氣を呼ぶであらう。



(阿部勝水師)

正統会忘年演奏会

正統会忘年演奏会では十二月十八日忘年演奏会を正午より愛宕山の葉根で催し、水越、堀越、岩屋、柏木、古家、鈴木、清川、遠藤、本橋、岡部、大塚、八東、池野谷、正本、吉田諸氏の各名奏と最後に有志の合奏があり賑わった。

橋会家元
日本橋会会長

橋旭宗先生



(橋旭宗師)

筑前琵琶橋流初代橋旭翁宗家の時代に、代理師範として代橋古を勤められ、四絃楽器から五絃楽器を考案した橋旭宗師は、絃聖と称えられた名匠で、後に独立して日本琵琶会を創立され初代宗家となった。今息は母の希望で実業家とな

横濱旭会の主任
人格者 板倉旭富氏



(板倉旭富師)

この偉大な芸術家を母として誕生された山元国光氏は、「城光」と号し母堂の補佐役を務め、温厚至誠と情義礼節の才で信頼されてきた。実母の初代宗家後継者として最高幹部一同と後援有志並に旭錦会一同から後継会長に推挙され、二代目宗家を継承し城光改め山元錦城となり、吟詠界に活躍されるとう。錦城会の一層の発展を希望して止まぬ。

琵琶楽器は、天台宗祖伝教大師が仏道修業の帰りに印度より持参し仏事用とされたのが始めて以来千三百年に及ぶ。爾来音楽器として堂上方に愛用され、平家権勢時代に盛んで今日まで平家琵琶として

詩吟朗詠錦城流
琵琶旭錦会々々

二代目 山元錦城師

筑前琵琶日本橋会の宗範、吟詠錦城流宗家と会長として全国に二万余人の会員を持ち、立志伝中の女傑と讃えられ、斯界の女王と敬称された山元錦城女師は逝去後勲五等宝冠章を受章され栄誉を



(山元錦城師)

て名残がある。明治から大正時代が最盛期で、歌詞の内容が忠臣

京都琵琶壇の名将
平井春嶺師

日本人の心のふるさととして有名な京都は、桓武天皇以来明治維新に至るまで一千年間に亘り皇居の所在地で古の歴史は古い。されば日本の総ゆる諸物の設備は完備され、風光明媚の勝地は文化を興隆し文学や音楽も盛んであつた。高位貴人に愛用された琵琶樂



(平井春嶺師)

は平家時代に最もはやり今に平家琵琶として名残りをとめてゐる。故に京都には薩筑各派の巨星が本拠を構えて互に勢力を争つた時代もある。現在は時勢の変遷につれて愛好者の数も減つたが、それでも名匠大家と讃えられる方に薩摩派の平井春嶺、筑前派の矢吹旭美津、梅村旭壽の三師が居られ、錦心派の方は趣味としての入々で植村真水氏外数名の古老名手がおり新人の指導に尽されてゐる。

蓮水会琵琶吟舞会
徳行が人気の

西宮市民文化祭
参加行事賑わう

平井師は全国的に東西奔走の活動家で名声高く、円満な人格者で社交家であり技術も優秀で人気が高い。得意の曲は、彰義隊、光秀の最後、吉野落、城山、寂光院、本能寺、水天門。
師は日本琵琶楽協会の関西副支部長に推され、いよいよ来る三月十一、二の両日に亘り京都商工会議所にてその発会大会を開く由。

に多年に亘り各方面の福祉に奉仕し、常に市民の便宜や至幸に協力助成される徳行が大家より敬愛の助となり、蓮水夫人の琵琶と詩吟芸の人氣向上に一段の花を添えつつあるのは真実で、毎年文化祭毎に主催される蓮水会琵琶吟舞大会が満員の成果を取れるのも全く松野、三浦ご夫妻の徳行の賜物である。
五十二年度文化祭参加の蓮水会大会行事は、既報の如く十月二十三日正午から例年の如く市立夙川公民館松下記念会館にて催された。詩吟で幕を明け十餘題が続き琵琶五曲上演され、詩舞で目を娛しませ、更に詩吟、琵琶と会員の熱演で聴衆の拍手を受けた。剣舞上演のあと御挨拶に移り、蓮水後援会長加藤氏、県議佐藤氏が登壇され祝辞が述べられ花を添えた。次が来賓の出演で、東京の水藤名古屋の三輪、静岡の太田の三者が演奏されたが会主三浦師の技量が及ばず、フアン内には失望の嘆息さえあつたとか。会主の琵琶「小督」に青柳流の舞を上演、更に詩吟、琵琶掛合曲のあと京都平井春嶺氏が「文天祥」の曲を巧演し拍手を浴び、最後に会主三浦蓮水女史が、夫君で同会顧問であり作詩家の松野紫雲師作詞の「楊貴妃」で芸家の貫録を充分に揮い全聴衆を魅了して割るばかりの大拍手の渦を起し、賞讃と感謝の声の内閉会を告げた。
この日会員の楊水、反町紫水両氏と、新鋭花形二、三人に出色あつたとの通信である。

謹 賀 新 年

<p>185 自宅 105 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ一ノ七 電話 〇三三七八九九三八九九 東京都国分寺市東元町三ノ三四 電話 〇四三三三三三三三三五</p> <p>105 事務所 電話 〇三三七八九九三八九九 東京都国分寺市東元町三ノ三四 電話 〇四三三三三三三三三五</p> <p>185 自宅 電話 〇三三七八九九三八九九 東京都国分寺市東元町三ノ三四 電話 〇四三三三三三三三三五</p>	<p>筑前琵琶橋会 大師範 堀田旭甲 (天風翁甲堂) 天風甲心流吟詩道甲心会本部 444 岡崎市福寿町七七七 電話 〇五三二二二二二二二二二二</p>	<p>日本橋会大師範 大和流琵琶吟宗範 板谷旭邑 730 広島市橋本町一〇ノ一五 電話 (21) 七五二二二二二二</p>	<p>筑前琵琶旭会大師範 河野旭保 〒802 北九州市小倉北区馬場一ノ二四ノ五 電話 〇五三二二二二二二二二二二</p>
<p>薩摩琵琶正絃会 雲雀会 遠藤鶴東 280 千葉市登戸四ノ九ノ二 電話 〇五七(41)一九〇一</p>	<p>四絃琵琶齊曲会 望月啞江 272 市川市東菅野四ノ八ノ二二 電話 〇四三(38)三三七・(39)二六六</p>	<p>錦琵琶 錦秀木原綾子 外門下一同 274 船橋市高根台四ノ一五ノ四 電話 〇四七(66)七九四〇 中野区若宮三ノ七七ノ八ノ六 平田方電話 〇三三(33)七〇五八</p>	<p>錦鳳流琵琶 朱鳳流吟詠 宗家入谷錦鳳 414 伊東市川奈光ガ丘一三三三八 電話 〇五七(45)一七四九</p>
<p>錦心流琵琶 一水会本部 本部 112 東京都文京区大塚五ノ六ノ一四 電話 〇三三三三三三三三三三三三</p>	<p>石田琵琶店 四世石田不識 105 東京都港区虎の門三ノ八ノ四 電話 〇三三三三三三三三三三三三</p>	<p>筑前琵琶、詩吟 原田旭鳳 176 東京都練馬区貫井一ノ一八ノ四 電話 〇三三三三三三三三三三三三</p>	<p>奥田医院 奥田興 113 東京都文京区湯島三ノ八ノ二 電話 〇三三(88)八三七一</p>

謹 賀 新 年

<p>薩摩琵琶 古家絃風 124 東京都葛飾区立石ノ元ノ四 電話 〇三三三三三三三三三三三三</p>	<p>錦心流琵琶 中谷襄水 232 横浜市南区井土ヶ谷中町六二 電話 〇四七(77)六七七七</p>	<p>松田静水 145 東京都大田区南千束三ノ七ノ七 電話 〇三三三三三三三三三三三三</p>	<p>日本琵琶振興会会長 鈴木流泉 343 越谷市大成町一ノ二二二二二二 電話 〇四九(82)二二二二二二</p>	<p>薩摩、晴風会 会長 浅野晴風 164 東京都中野区中野三ノ二ノ六 自宅電話 〇三三(36)〇〇六一 電話 〇三三(36)〇〇六一</p>
<p>馬場鶴洲 144 東京都大田区下丸子一ノ七ノ三 電話 〇三三(70)五〇一五</p>	<p>田中鶴旺 175 東京都板橋区成増五ノ一六ノ四 電話 〇三三(80)七七六二</p>	<p>半田鶴炎 354 埼玉県富士見市上沢三ノ八ノ七 電話 〇四九(51)二七〇九</p>	<p>石坂鶴朋 334 川口市安行原二五三六ノ三 電話 〇四二(96)三三八一</p>	<p>鶴派鶴翔会 友吉鶴心 111 東京都台東区浅草一ノ二ノ六 電話 〇三三(44)四二二五</p>
<p>近藤錦秋 400 甲府市朝日三ノ一ノ一 電話 〇五三(52)八五五七</p>	<p>錦心流琵琶輝派 支部長 福手錦稜 外会 員 一同 羅府サマーセット通三八〇七</p>	<p>国風流詩吟部 輝水会北米支部 166 東京都杉並区成田東三ノ八 電話 〇三三(81)四五八六</p>	<p>秋山溪水 153 東京都目黒区上目黒三ノ二ノ五 電話 〇三三(71)〇六〇六</p>	<p>一水会富士支部 北陸琵琶同好会本部 田中愛水 930 富山市太田口通り一ノ六ノ三 電話代表(25)三七四二</p>
<p>薩摩琵琶正絃会 日本琵琶楽協会 根本岳邦 367 埼玉県本庄市前原一ノ三ノ五 電話 〇四九(22)四九〇〇</p>	<p>薩摩琵琶正絃会 日本琵琶楽協会 根本岳邦 367 埼玉県本庄市前原一ノ三ノ五 電話 〇四九(22)四九〇〇</p>	<p>横須賀 四絃富士会 事務所 員 一同 横須賀市富士見町一ノ五一 電話 〇四六(22)三三六一</p>	<p>薩調四絃千葉玉山会 重田玉袖 177 東京都練馬区高野台三ノ九ノ七 電話 〇三三(98)四〇六三</p>	<p>吟詠赤心流 家元 赤心流鶴翁 420 静岡市西草薙町二ノ二ノ二〇 電話 〇五三(53)一四七一</p>

九州地域で初公演 橋会全国大演奏

聴衆満員で成功

筑前琵琶日本橋会の第九回全国大会演奏会は、十月二十三日北九州市戸畑福祉文化センター音楽ホールにて開催、戸畑区教育委員部文化団体連合会後援である。当日は晴天に恵まれて一般愛好者の出足も早く数百名収容の会場は殆んど満員の盛況で、有料会としては成功されたという。

演奏は定時に第一部の「筑後川」を上演、地元の若手連の合奏で開幕。ついで各地選出の若手や中堅の独奏、合奏で十三番が上演された。更に師範級の演奏に進み、その先陣は厚木の三栖旭雄女史の「平野国臣」の曲、美人であり美声家での巧演技で大拍手を沸かす。次に川崎の丸山、名古屋の志水、神戸の大道、京都の矢吹組、一の宮の小川と競演で腕の牙を奮揮する。一部の最後は広島板谷旭島女史の「都落ち」の曲で、豊麗な美声で自由自在な巧みな節廻しの熱演で満場のファンを悉く陶醉させ流石に名人芸と翻る様な拍手が止まぬ。

茲で御挨拶となり、家元橋旭宗専務理事兼事務局長堀田旭田氏が登場して挨拶され、第二部の開演に移る。

第二部は序番に特別番組として「茶絃録」を上演、板谷旭島大師範以下橋会の精鋭十三名が舞合一

面登場して一条乱れぬ絃の牙えを示し、技量の橋会の貫録を聴かせ、全ファンを悦ばせた。これには茶道相良宗匠社中の七名登場も礼儀正しい作法振りを見せた。単奏は教授級二人のあと師範級の出場となり、名古屋の前田旭城、米子の田子旭園、名古屋の石河旭壘、神奈川の押川旭葉、鳥取の北村旭良、彦根の林田旭城と当代斯界屈指の花形名星の巧演で愛好者を熱狂させ、更に地元九州連の小野旭枝、友田旭泉、江本旭清三女の力演で支援者を喜ばせ、広島の菊地、大阪の渡島これにつき、いよいよ注目の大師範岡崎の堀田旭田師の「月照と西郷」の曲で、西郷南洲翁百年祭に南洲翁の往事を偲ぶ。最後は現代の宝と定評高い名人、宗範大真の山崎旭幸女史の「安宅」で、真名人の貫録を深感させ、満場を揺がす拍手声援裡に終了。

翌日は参加代表約四十名がバスを借り切って下関の赤間神宮を参拝し、平家一門の墓と耳なし芳一の墓を参観して歴史を偲び、小倉駅で解散。それぞれ帰途について

橋会定期総代会

日本橋会第九回定期総代会は、全国大演奏会の前日即ち五十二年十月二十二日戸畑の豊山閣で午後六時に開き、橋旭宗家元、山崎旭幸宗範、堀田旭中事務局長以下四十余名出席、堀田理事を議長に推挙して、故山元旭錦宗範を追悼祈念を捧げ全員黙祈。会長の挨拶あ

りて議案審議に入る。(1)五十一年度事業報告、(2)第八回全国大会の収支決算報告、(3)五十一年度本部会計報告、(4)先代宗家十三回忌法要と全国大会を五十二年十月七日東京にて開催の件、(5)これと同時に物故師範者の追善会を行う件、(6)役員改選の件で常務理事を新規に各地域に置く事となり東京、中部、関西、中国、四国、九州地区へ。監事は重任となる。以上議決して終る。終了後懇親会を開き親睦増進された。

旭会全国大会の二日目大入盛況

戦後一時衰退した琵琶音楽も其後漸次復興され、数年前来は新人に興味を持たれ、各教授所に新入門者を多く見受けられる。特に婦女向きの筑前派に若い女流の新人員が多く見られてきた。斯界日本一の大集団である日本旭会に此の傾向が強いという。

日本旭会の第四十七回全国大会大演奏会が、十月二十八、九の両日神戸で神港旭会の司会で催されたが、好天にも拘らず市内にお祭りとか外国の珍客の来訪行事とかで初日は入場大衆薄く、全国各地より参加来演の各代表者の気落ちを各関係役員は気遣ったが、二日目は晴天と土曜日の一気にファンは暗天と土曜日の会場は殆んど満員となり、各係員も出演組も笑顔をはこぼせたとす。特に司会役の柴田旭堂女史も神港旭会

西川旭操女師のりサイタル盛況

関西の筑紫界に女流の名星として謳われていた姫路市の西川旭操女史は、九州長崎出身の特質を有つ斯道の巧者で、重量貫ある芸風は京阪神屈指の大家であり又活動家でも名高い。同師のりサイタルは旭会全国大会総会の翌日の十月三十一日十一時より姫路文化センターにて催された。出演者は旭操一門と予てより親交の深い伊藤旭嶋、梅原旭瀧、天津八千代、宮垣旭暢、浜本旭好の諸名流を始め、当代の人気焦点である高千穂旭楓、竹本旭将の両精鋭諸氏の上演

山田美喜子さん琵琶演奏会大入

日本音楽集団のお等の名手である山田美喜子さんが、五十二年度文化庁芸術祭参加を標榜し琵琶道二十年の歩みの演奏会を十一月十五日夜六時半から新橋西口の朝日生命ホールにて催された。上演曲は「琵琶四重奏のための雷鳴」「千鳥の曲」「ふくろう」「運命の楽人」「流麗」「琵琶協奏曲」の五曲で、出演者は、山田美喜子会主山崎旭幸、日本音楽集団会員等、琵琶の半田綾子さんも助演に出演され人気を呼んだ。同夜は音楽集団員の協賛で大入りの入気であった。

曲にはそれぞれ舞踊を加えて華やかにファンを楽しませ、ご挨拶後の地方名家協賛の曲即ち横濱の小原旭成、福岡中村旭園、富樫旭桂、伊藤旭暢、横野旭鳳、木庭旭山諸師の上演曲にもそれぞれ舞踊を入れて大入りの聴衆を堪能させ感謝され成功した。

追記、西川師は同市と郷里長崎に教授所を持って斯道の普及と向上に専念され、年に数回の公演を催しては同好を励ます方で人気も高く、今回りサイタルで上演された内の新撰組はテレビ放送されたという。

新年賀謹

日本旭会大師範

押田 旭 窈

筑前琵琶日本旭会

中村 旭 園

筑前琵琶師範・旭昇会々々長

田 中 旭 昇

筑前琵琶旭会師範

浜 本 旭 好

詩吟物語 教授と出演

大野 皎 月

筑前琵琶保存会

嶺 旭 蝶

810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二

電話 〇三三〇三二〇番

筑前琵琶日本旭会

師範 富 樫 旭 桂

筑前琵琶日本旭会

師範 横 野 旭 鳳

筑前琵琶旭会師範

大 津 旭 紅

筑前琵琶日本旭会

安 倍 旭 静

筑前琵琶師範

師範 樋 口 旭 清

815 福岡市南区長住五ノ一六ノ元

電話 〇三三〇三二〇番

田 中 旭 千 栄

舞踊名 林 昭 枝

164 東京都中野区本町五ノ五ノ七

電話 〇三三〇三二〇番

事務所 横濱市旭区本宿町一〇六

電話 〇三三〇三二〇番

理事 板 倉 旭 富

西 村 旭 山

春 日 井 旭 桂

田 中 旭 讓

添 野 旭 真

秋 山 旭 城

斎 藤 旭 芳

筑前琵琶

紅 会

160 東京都新橋区三葉町十六番

電話 〇四五一九二番

事務所 東 都 旭 会

電話 〇三三〇三二〇番

事務所 171 東京都豊島区高松三ノ十

電話 〇三三〇三二〇番

全朝協常任理事

宗 範 四 方 田 錦 隆

日本橋古流総伝教師

錦 琵琶

村 木 桜 柳

190 立川市高松町二ノ二ノ一三

電話 〇三三〇三二〇番

新年 謹賀

<p>筑前琵琶日本橋会 西村旭一声 485 愛知県小牧市北外山字 竹林四ノ二九六四 電話(五三)九六四五番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠香城流宗範 岩見旭香 岩見香城 466 名古屋市昭和区滝子町四ノ六 電話(五三)九六六六番</p>	<p>筑前琵琶日本橋会師範 彦根旭城会 会長 林田旭城 252 彦根市中央六ノ一三 電話(七三)三二二六番</p>	<p>筑前琵琶橋会 押川旭葉 250-04 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 三〇〇電話(四六)二二一一番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範 佐伯旭瑛 577 東大阪市徳徳町一ノ二ノ八 電話(七二)一四八三番</p>
<p>筑前琵琶橋会師範 久徳旭蘭 651 神戸市東灘区八幡通四丁目一ノ七 神戸市役所正門前(久徳ビル五階) 電話(六)一六一〇番</p>	<p>筑前琵琶橋会 師範 北村旭良 680 鳥取市片原四丁目二〇二 電話(六五)八七二四番</p>	<p>大和流琵琶吟楽 師範 安藤光鵬 158 東京都世田谷区東玉川町二ノ 三ノ七 電話(四二)八二二番</p>	<p>筑前琵琶橋会 法蓮院 千住旭滄 857 佐世保市栄町五ノ二六 電話(五五)一〇一〇番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 豊穰会 石河旭豊穰 石河豊穰 464 名古屋市千種区徳川山町一ノ 三ノ七 電話(三三)四七八〇九番</p>
<p>筑前琵琶橋会師範 小川旭典 490-01 一宮市機井町大日比野三〇九 電話(五三)二八八〇番</p>	<p>筑前琵琶橋会 松村旭奎 157 東京都世田谷区粕谷町三ノ三 電話(三三)四八三三番</p>	<p>筑前琵琶橋会 川喜多旭麗 164 東京都中野区弥生町四ノ三ノ 七 電話(四二)〇三九二番</p>	<p>一水会藤沢支部顧問 秋山錦賜 251 藤沢市橋本橋本二ノ一ノ三 電話(四六)七三六七(二二)六七七</p>	<p>三鷹市芸術文協会理事長 三鷹市邦楽愛好会理事長 三鷹市日本舞踊同好会相談役 日本伝統芸能同好会編成部長 加藤錦陽 181 三鷹市井の頭三ノ一九ノ六 電話(三三)七九六五番</p>
<p>筑前琵琶橋会師範 三栖旭鋒 243 厚木市栄町一ノ五ノ二〇 電話(四三)二七二四番</p>	<p>詩吟朗詠錦城流大師範 若水桜松 188 東京都田無市南町五ノ一ノ七 電話(四四)九四九一</p>	<p>吟詠 若水桜松 平賀桜翠 小杉松岳 菅野松神 山下松栄</p>	<p>琵琶と吟詠 井上雅翔 152 東京都目黒区原町三ノ九ノ三 電話(三三)四七三三番</p>	

琵琶道50年の成果 松村旭奎師の会

名人や大家の至
芸と舞踊洋楽入
りて大人気沸く

好きこそものの上手なれと言
うが筑前琵琶音楽研修のために、合
原旭天巨、橋会初代宗家、山崎旭
萃の三人に師事し、五十数年の
歳月をかけた東京橋会員の松村旭
田谷区成城の区民会館に於て初主
催の琵琶演奏会を開いて技師の程
を發揮し大人気を呼び、恩師山崎



(松村旭奎師)

先生へ謝恩の意を表し讃えられ
た。この日秋晴れの好天に恵まれ
会場は祝賀花数基が金屏風を背景
にした舞台左右に飾られ、愛好者
の出足も早く好調であった。開演
は予定通り会員の詩吟で始まり、
番組通り合吟、独吟、琵琶と十題
が続き、一度休憩して二部の琵琶
演奏に入る。
二部の出演者は何れも教師以上
の資格を持つ松村女史の絃友で、
高名の大家も居り秀技者も揃っ
た。新鋭花形組と練達の師範格の
競技が数曲ついでフアンの拍手
が起った時に、芸の友社の鈴木社
長が挨拶に登壇して「琵琶楽の歴

史と其の精神である人倫五常の大
道と会主松村女史の貞節礼道をた
たえて「拍手裡に降壇す。次に押
川旭葉、木下旭電師範の各単奏
が愛好者を引きつける。会主松村
さんは山崎旭萃恩師の絃で秘曲
「安宅」の大熱演で全聴衆の割る
ような拍手と賞詞を浴び晴れ舞台
を飾ったのは成功。
つづいて来賓名手の出場となり
その先鋒は名古屋の前田旭城師で
次が藤派女流の仲川秀邦さん、三
番手が錦びわの水藤五郎師、四番
が旭会の花玉原島旭絃さん、最後
が名人で權威者の山崎旭萃師の
「茨木」の曲で、その入神の技は
全人を深感させ熱狂的な拍手を受
け五時終了した。それより慰勞の
祝宴が開かれて一同祝宴を上げ歡
談された。

山崎旭萃会の 全国大会大人気

当代琵琶の真名人と讃えられる
大阪府在住の筑前琵琶橋会の宗範
山崎旭萃女師の指導する旭萃会員
は全国的に散在するが、毎年一回
一堂に会して全国大会を催すのが
例である。五十二年度は既報の如
く十一月二十七日より広島の
中国新聞社ホールで開催され
た。これは山崎師の最高門人であ
る同市の女流社交界の花形で芸豪
で名高い、いたや旅館の女将板谷
旭島女史の献身的な協力によるも
のである。
出演者は各地より参加の琵琶、
琵琶の門下数十名で東京から九州

錦心祭全国大会 一般参加者薄

永田錦心宗家遊いて五十余年の
錦心流一水会本部主催の全国大会
演奏大会は、十一月四日十時より
銀座ガスホールにて開催、会場入
口前のロビーには、一水会本部
部会旗三十二流が吊されて人目を
引く。場内舞台は金屏風一対を背
景に向って右側に故宗家の写真を
飾り、左に祝賀花一つ。開演は定
時に本部幹部出演の「徳錦心」
の曲を序奏に各地方支部代表の独

奏、合奏等が展開されたが、折り
悪しく正午前より濃曇の空から雨
が降り出し次第に強雨となつて他
の足を阻止された。このためか
関係会員外の一般入場者の姿は絶
え本部役員等は恒心の様に見受け
られた。翌日は恒例の総会で、花
家が開き、任期満了により本部役
員全員の改選が行われ、そのあと
懇親宴を張って交歓を深められた
と。

超員で飾る 洲楓会の大人気

競演の巧技好評

故大館洲楓名人の遺業を継ぐ洲
楓会は、独特の節調を示す錦心流
中の芸風でファンを楽ませ期待
されつつあるが、二十三日夜上野
本牧亭で催された同会二組の演奏
会は、晴天で小春日和の関係もあ
るが素晴らしい人気を呼び開場三十
分で満員の盛況であった。開演は
定時に加藤(城山)で始まり、真
泉(屋島の蒼)、中村(茨木)の
出場頃には既に場内を埋め尽くす好
調の人気。彼の矢、弘沢、平井と
洲楓会精鋭組の出番時には満員で
ファンは立ち聴きの止むない状態
で喜しい悲鳴さえあつた。ここで
場内整理が行われて来賓の若水桜
松(新撰組)、松岡遊水(常盤の
前)と熱演が続き、前者は豊富
な美声と特徴ある節廻りで、後者
は精力的な女流に珍らしい熱の入
れ様で聴衆を惹きつけた。
更に洲楓師直門も古参組で巧者
の川本玉水(紅葉狩)、理事長桑

移転御通知

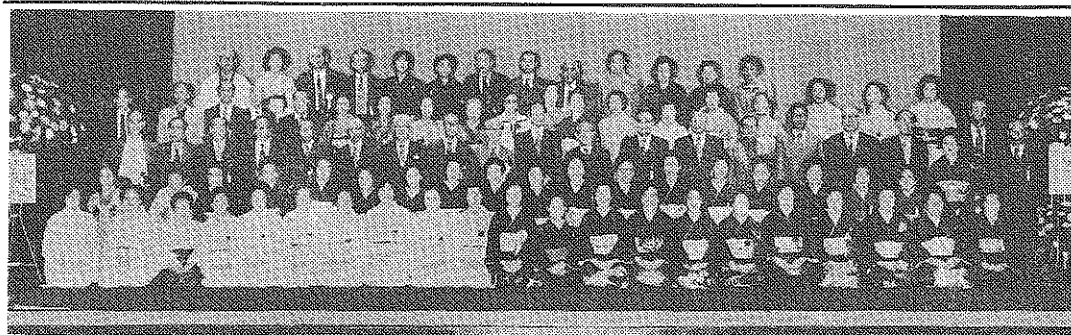
筑前琵琶中部橋会
事務所
筑前琵琶中部橋会事務所は、
昭和五十二年十二月中旬に左記
の場所へ移転いたしましたので
お知らせ致します。
昭和五十二年十二月末日

移転先

485 愛知県小牧市北外山字竹林
電話(五三)九六四五番

山田洲楓秋の会

東京新宿一丁目琵琶詩吟の教
室を開いて多くの門人を指導して
いる洲楓流琵琶の大家山田洲楓師
は、恒例の秋のおさらい会を十一
月六日洲楓会館にて開き、門下二
十余名の独吟のあと免状授与式に
移り優秀者の昇格が披露され、更
に数名の独吟で第一部を終り、第
二部は錦心流琵琶演奏で、小野寺
辻、立花、望月、山田五氏の熱演
で終了したが、同会は家族的な温
かい雰囲気の中で観る人気良
く楽しい一日であった。



筑前琵琶協会全国大会

むさしの研修の公演は競演好評

師走の七日十一時より第一証券ホールで催された「むさしの琵琶研修会」の各派名流琵琶演奏会は出場者が何れも定評ある精練の巧者揃いである上に、コンクールで一位に入賞された文部大臣賞受賞の秀技者が四名もあり、加えて美声王の若水師と老練の若宮女史、吟界の花王と定評ある浜松の中村さん。斯界では中堅組の人気者で同会の立役者理事長の加藤氏、湘南小田原市の実力者神戸、若林の両雄に近年技術上昇で人気を呼ぶ青木、坂入、本橋の中老組が前述のコンクール優勝一位の押川、高田木原、広瀬の四強家と如何に取組んで勝敗を決するかファンに興味が深まり、年の暮にも拘らず入場者殺到して各ヒイキへの声援盛んで賑った。各出演者もなごやかな控室の語りや訪問者との解け合い、聴衆席の空気を察して苦心構えに一段の緊張感を増し、負けじ魂がこもって熱演に次ぐ熱演で技巧牙え、近年にない大競演でファンを悦ばせ、一曲毎に起る拍手は素晴しかった。臨時挿入の詩吟木原、広瀬両女師の力量に全員が圧迫されていた。

舞踊と組んだ中谷師の名人芸

全観衆を酔わす 錦心流琵琶の大家、横浜市在住

筑前琵琶連合会事務局長
日本旭会常務理事

吉田 旭明
130 東京都墨田区菊川三ノ八ノ七
電話(632)一四五六番

栃木県琵琶協会

平田 旭峰
320 宇都宮市峰町九〇
電話(八六)三三(四五六二番)

謹賀新年

桜井旭会々長

秋元 旭晨
618 大阪府三島郡島本町桜井四ノ六
電話(五三)四五〇三番

日本旭会参事

野田 旭条
125 東京都葛飾区高砂町三ノ七
電話(五七)二八六〇番

翠風 翠風 宗家
あさひこ短歌会

竹下 翠風
168 東京都杉並区下高井戸五ノ三
電話(三三)五八九四番

筑前琵琶教授

原島 旭粧
160 東京都新宿区西新宿六ノ七
電話(四三)五五六四番

筑前琵琶協会
詩吟静風流

峯 旭孝
177 東京都練馬区東大塚町一四
電話(四三)三〇四〇番

筑前琵琶日本旭会
大阪旭会、東大阪旭会

法孝山 尾山 旭瑞常
558 大阪府住吉区帝塚山東登ノ九
電話(六七)〇八四八番

筑前琵琶橋会師範
旭会

山田 旭芳
153 東京都目黒区下目黒三ノ一
電話(四四)一九六番

筑前琵琶橋会

師範 木下 旭龍
151 東京都渋谷区幡ヶ谷二ノ一
電話(三六)二二七番

中部橋会幹事長
名譽師範代

前田 旭城
496 愛知県海部郡佐織町持中佐渡
電話(三〇)〇三三八番

筑前琵琶旭会師範
神心流吟道総師範

中島 旭穂
602 京都市上京区東堀川植木町角
電話(五二)四〇三三番

筑前琵琶日本旭会理事
備後旭会々長

川崎 旭澗
729-01 福山市松永町二八八ノ三
電話(八四)五二四二番

筑前琵琶旭泉会

主宰 山本 旭泉
657 神戸市灘区倉石通三ノ一
電話(八七)一五一五番

筑前琵琶翠紅会

広瀬 翠紅
187 東京都小平市仲町一九〇
電話(三三)四二四三番

筑前琵琶橋会
詩吟教授

師範 佐野 旭晴
651 神戸市灘区上河原通一ノ四
電話(八七)五三一九番

筑前琵琶日本橋会

師範 友田 旭泉
804 北九州市戸畑区天神三ノ九ノ八
電話(三三)〇四三三番

筑前琵琶旭会
旭邑詩吟

斎藤 旭邑
239 横須賀市野比七〇七
電話(四八)二二七四番

都派琵琶本部

家元都 錦穂
113 東京都文京区根津ノ三ノ二
電話(四五)五七〇八番

大知 藤

大里 藤

都 藤

佐藤 藤

丸 藤

遠藤 藤

京 植村 冥水社

569 高槻市津之江北町一ノ三
電話(三三)六〇五一番

の中谷水師が、去月邦舞界の名匠花柳師の切望で舞踊の地方に琵琶をとの事で、中野の能舞台での公演に出演された。この時の花柳師の所作と中谷師の琵琶演奏のイキがピッタリと合って寸隙なく、満員観衆は息をこらして鑑賞され、その名人に魅せられたと言っている。(これは或る芸通人からの電話であります)



(中谷水師)

秋山 水師が
錦心流琵琶大会
2月11日日本牧亭
錦心流総伝級の大家で律義者で著名な秋山水師が、久しぶりに来る二月十一日上野本牧亭にて琵琶演奏大会を催すと。詳細次号へ

講談琵琶の名匠
京都 大野 皎月師

講談琵琶と言えば、戦前大阪在住の大家水也田吞洲師を偲はせるが、現代では京都市外大山崎に住居する大野皎月師が名人であり義心強い気骨の礼節正しい大家である。師は去秋松山の観音寺で演奏された「乃木將軍鹿島詣」の曲で、船頭身助との対話で哀愁の情

豊な人生美の巧みに全聴衆を泣かせたと言います。此の極致芸の持主は現時の境界には恐らく皎月師を置いては他にはないのではないかと思われる。

正絃会11月演奏会
薩摩琵琶正絃会の霜月演奏会は二十日正午より文京区の根津会館にて開かれ、水越、大塚、古家、遠藤、柏木、池野谷、清川、鈴木吉田、樋口諸氏外数名が出演されて十七曲を上演して同区のファンを喜ばせた。

錦心・筑前・薩摩
女流琵琶大会
東西一流大家一堂に獅子吼す
三月十二日 名古屋大須 福祉会館
主催 阿部 久子
後援 琵琶芸術同好会

謹賀新年
吟詠教授 晴声会
会長 中村 晴声

432 浜崎市鹿谷町三七ノ一
電話(三三)七六六〇番
筑前琵琶橋会
大和流琵琶吟奏
師範 田子 旭園
詩吟号(光) 園
683 鳥取県米子市岩倉町六〇
電話(五九)三三(九〇五七番)

石田 脩水
琵琶演奏会
53年1月18日正午
所 安田生命ホール
主催 脩水 会
後援 日本琵琶楽協会

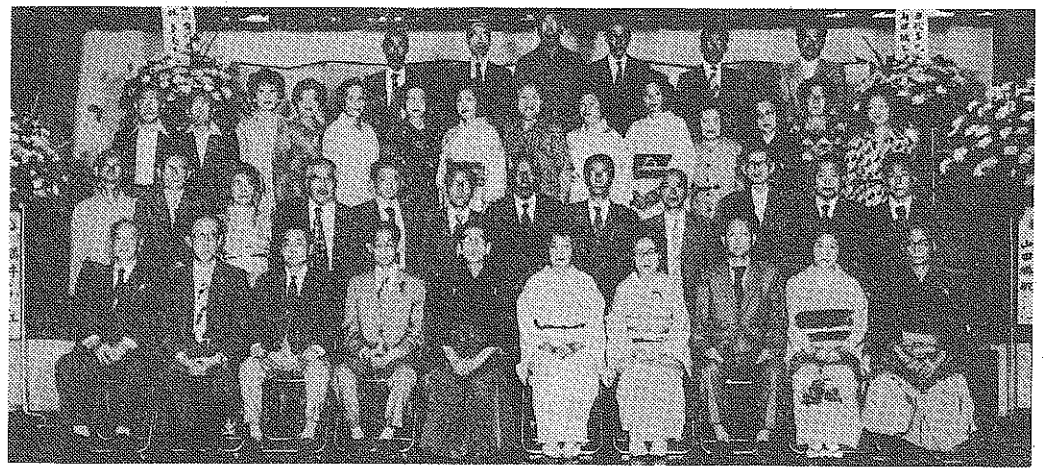
曲名 出演者
詩吟 梅花 小楠まさ子
詩吟 春を探る 杉本 光江

重 衛 絃 吟
本 能 寺 狩野 蓮 脩 城
旅 順 の 乃 木 将 軍 内 田 田 脩 州 静 鳳
小 栗 木 石 田 脩 州 静 鳳
伊 井 大 老 中 村 戸 静 鳳
茨 木 長 谷 川 錦 舟 心
横 笛 山 田 洲 鳳
詩 吟 宝 船 中 村 洲 鳳
伊 達 正 宗 押 川 藤 郎
川 中 島 旭 葉

新 春 名流琵琶演奏大会
所 銀座ガスホール
時 一月二十八日 十一時より

船白新羅八 勸 擲 合
弁虎撰生甲 進 合
慶隊組門山 富 長 前
松前若藤友 石 前
田田水卷吉 田 田
静洲桜旭鶴 脩 洲
水月松鴻心 水 舟

名古屋阿部久子さん主催 各派名流琵琶公演の記念撮影



【写真説明】
名古屋の錦心流派女流の名屋阿部勝水(久子)女史は、十月二日大須の中小企業福祉会館にて秋の琵琶名流公演を主催し、満員の盛況で良果を収めた。写真は当日の記念(前列右より)奥村麗水、石河旭登、平井春嶺、都錦種、阿部勝水、前田秋声、鈴谷六水、堀錦凌、小川吟水、土橋虎水▲(二列)久保田堅光、志水旭城、牧南水、西川磯水、西村旭一声、青山旭登、堀田旭甲、前田旭城、高階晃水、小川夫人、武田弘水、安江弘水▲(三列)平井夫人、鬼頭はる、兵藤敬子、前田夫人、水野旭麗、今泉旭玲、清水旭照、山本紅香、松浦旭翠、小橋実枝、伊藤瑞枝、秋本雅子、小林残水、橋谷岳▲(四列)丹野鮎水、長谷川勝修、山田勝敏、西村正一、岸本港水、坪内旭鳳。

薩摩琵琶古曲研究 研究所公演を聴く

東京琵琶界の元老で薩摩正派の最長老であり、日本琵琶協会創設の主唱者で現副会長の碩識に在る辻靖剛翁は、伝統精神音楽琵琶の将来を憂慮して、若い人々へ精神修養の資料として教え置き永久に残さねばならぬと十数年前に決意し、古曲研究所を開き熱心に教導を開始された。爾来約十年間に及ぶ。

辻翁は本年八十六歳の高齡であるが、日本人の伝統民族精神は、礼節と信義、尚武、操節の常道を守行するにありと堅く信じ実行され今日に至っているが、古来の高位貴人も琵琶を愛し、また明治大帝も薩摩琵琶を御愛用遊ばされたと承って一層執念を強められたラジオ放送の初放送を努められたと承る。その巨匠が開いた研究所は現在三十名の研究生を有し、最も優秀な生徒は既に卒業生として社会に活躍され頼る信頼厚く模範人と評される。

斯うして世間のお話を耳にする毎に辻翁の教導にも熱意が高まりまた研究生諸氏も励みが増し上達を早めつつあるは当然で、年一回開く公演も今度は五回目。各出演者の演技は年毎に上達し、ファンを驚ろかす進歩振りであった。それに行儀の正しいこと何人も真剣味の熱意が聴衆に好感を与えた。多数出演中最優秀と感じられたのは須田誠舟氏を始め清川嵐舟、樋口北舟の三者で、先輩や自

中村旭園女師の リサイタル成功



(中村旭園師)

筑前琵琶の本場福岡市で、現代の名匠と讃えられた名師海外にまで高い福岡旭園会長の中村旭園女史は、予てより郷土芸能筑前琵琶を後世へ伝えんものとその史実を残さんと志し、今回、県、市名の御協力により「筑前琵琶」と題の本を出版することが出来た。女

筑前琵琶の本場福岡市で、現代の名匠と讃えられた名師海外にまで高い福岡旭園会長の中村旭園女史は、予てより郷土芸能筑前琵琶を後世へ伝えんものとその史実を残さんと志し、今回、県、市名の御協力により「筑前琵琶」と題の本を出版することが出来た。女

中村女史欧州旅行

福岡旭園の名星中村旭園女史はリサイタルの催し後に芸能使節としてオランダへ旅行し、アムステルダムのホテルオークラで同行の若い門人と共に「華道」で生花と「那須与市」を演奏して大拍手を受け、その後仏国パリと英国ロンドンを見学して十一月三十日に帰国された。

筑前琵琶製作の 技者東京出現

戦後日本人の伝統精神である質実剛健礼節の気風を推奨する琵琶音楽の衰退につれて、その楽器の製作者の殆んどが転居または他界されて愛好の弾奏家は、新規購入は勿論修理等に困っているが、最近東京の藤巻旭鴻師方の会員中に器用な工作者が出て試作された処全く名作品に劣らぬ立派な楽器で、価格も二十万円前後からと頗る格安で喜ばれ注文多いと。製作者は桑田旭丈氏である。

辻靖剛翁快方へ

東京琵琶界の元老で日本琵琶協会の創立者である薩摩琵琶の名人辻靖剛翁は、九月下旬協会事務所へ出勤され帰途墮つて負傷し入院されたが半月程で退院され自宅で静養後更に十月上旬再出動した際またや途中でつまずき倒れて負傷され病院入りされる不幸を繰り返されたが、其後の経過も良く十一月二十一日退院された。翁は八十五歳の高齢者としてご家族は勿論知人や絃友門下も皆先生の健康を気遣い自重を望んでいる。

故三世橋旭翁師 七回忌追善法要

筑前琵琶伝統の宗家として邦芸能界に輝く橋旭翁家は、三世橋旭翁(友定)師が逝去されてから早くも七年、十一月二十八日はその祥月命日に当る。三世宗家は戦後国民精神の動乱により趣好物の変遷を予期し、初代と二代の伝統技法を時勢の流れに添えさすべく研究を積み、効果多い音楽と苦心の末に現在の様な新琵琶を創作され、大衆に飲ばれるに至った名匠である。日本旭会と東京旭会では三世宗家の遺徳を偲び、報恩感謝の意を捧ぐべく御命日の前日即ち十一月二十七日午前十時に新宿区富久町の橋家菩提寺である自証院にて法被院殿旭翁定友大居士の七回忌追善法要を営まれた。法会の奉経焼香後代表連が上高田の

三田村隆司氏逝く

東京の筑前琵琶楽器製作の名工で、琴三味線の製作者でも全国的に高名であった三田村楽器店主三田村隆司氏は、去夏以来健康を害し日赤病院へ入院治療中であつたが、肺病のため十一月二十二日午前九時遂に永眠された。享年六十三歳。葬儀告別式は二十四日午後二時より三時まで自邸で行われたが、会葬者数百名の盛葬で供花も多く一般から惜しまれた。

田中旭嶺師逝去

東京琵琶界の名星筑前琵琶の巨匠田中旭嶺女師(本名弥生)は、八月中旬以来健康を害し国立第二病院へ入院治療中の如く、十一月二十日午後五時病のため永逝されたのは惜し。行年七十一歳。葬儀告別式は三十日午後一時より自邸で行われた。女史は熊本県八代市出身で橋旭翁、安部旭洲、豊田旭穂三名匠に師事し大成された名



(田中旭嶺師)

西村旭一声師転居

名古屋琵琶界に温厚の人格者として人気ある筑前琵琶中部橋会長の西村旭一声師は、十二月中旬に愛知県小牧市北外山字竹林四二九六ノ四に転居された。従つて中部橋会事務所も同時に移つたので今後事務所宛通信は西村師の新居へお願いする。

前田旭城師動靜

名古屋琵琶界の長老で中部橋会幹事長の前田旭城師は、十一月二十一日上京、二十三日松村師の会へ出演後箱根温泉郷へ一泊し、二十四日午後帰名された。

京都三ツ和会公演

京都琵琶界に筑前派の白眉と讃えられる大家矢吹旭美津女師は、三ツ和会を組織してその普及に献身されているが、今回春嶺会、旭岩三美会、京都琵琶協会の後援で十一月二十日十一時より金比羅会館にて第五回公演を催した。主な出

喪中に付年末、年始の 御挨拶御遠慮申し上げます

詩吟朗詠
錦城流二代目宗家
錦城会会長

山元錦城

166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話〇三(三十五)六二二二番

筑前琵琶 旭錦会

166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話〇三(三十五)六二二二番